令和4年3月分（4月納付分）からの健康保険・厚生年金保険の保険料額表

（広島県）

<table>
<thead>
<tr>
<th>標準報酬</th>
<th>介護保険第2号被保険者</th>
<th>介護保険第2号被保険者</th>
<th>一般</th>
<th>坑内員・船員</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>等級</td>
<td>月額</td>
<td>全額</td>
<td>折半額</td>
<td>全額</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>58,000</td>
<td>63,000</td>
<td>105,000</td>
<td>10,909.2</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>88,000</td>
<td>93,000</td>
<td>117,000</td>
<td>13,413.3</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>118,000</td>
<td>123,000</td>
<td>155,000</td>
<td>17,917.4</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>148,000</td>
<td>153,000</td>
<td>185,000</td>
<td>22,421.5</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>178,000</td>
<td>183,000</td>
<td>215,000</td>
<td>26,925.6</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>208,000</td>
<td>213,000</td>
<td>245,000</td>
<td>31,429.7</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>238,000</td>
<td>243,000</td>
<td>275,000</td>
<td>35,933.8</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>268,000</td>
<td>273,000</td>
<td>305,000</td>
<td>40,437.9</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>298,000</td>
<td>303,000</td>
<td>335,000</td>
<td>44,942.0</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>328,000</td>
<td>333,000</td>
<td>365,000</td>
<td>49,446.1</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>358,000</td>
<td>363,000</td>
<td>395,000</td>
<td>53,950.2</td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>388,000</td>
<td>393,000</td>
<td>425,000</td>
<td>58,454.3</td>
</tr>
<tr>
<td>13</td>
<td>418,000</td>
<td>423,000</td>
<td>455,000</td>
<td>62,958.4</td>
</tr>
<tr>
<td>14</td>
<td>448,000</td>
<td>453,000</td>
<td>485,000</td>
<td>67,462.5</td>
</tr>
<tr>
<td>15</td>
<td>478,000</td>
<td>483,000</td>
<td>515,000</td>
<td>71,966.6</td>
</tr>
</tbody>
</table>

35(32)等級の「報酬月額」欄は、厚生年金保険の場合650,000円以上と読み替えてください。

令和4年度における国民健康保険協会の任意続保被保険者について、標準報酬額の上限は、300,000円です。

○被保険者負担額（表中の総額の間）に円未満の端数の有無がある場合
①被保険者が、被保険者負担額を控除する場合、被保険者負担額の端数が50銭以下の場合は切り捨て、50銭を超える場合は切り上げて1円となります。
②被保険者が、被保険者負担額を控除する場合、被保険者負担額の端数が50銭未満の場合は切り捨て、50銭以上の場合は切り上げて1円となります。

(注)①、②にくわわらず、事業主と被保険者間で特約がある場合には、特約に基づき端数処理をすることができます。

○納入告知書の保険料額
納入告知書の保険料額は、被保険者個人の保険料額を合算した金額となります。ただし、合算した金額に円未満の端数がある場合は、その端数を切り捨てた額となります。

○給与給付金保険料
貰金に係る保険料、副貰金から1,000円未満の端数を切り捨てた額（標準報酬額）に、保険料率を乗じた額となります。
なお、厚生年金保険・子ども・子育て給付金の場合は月額100円となります。

○子ども・子育て給付金
事業主の方が、児童手当の支給を必要とする費用を1,000円未満の場合、被保険者負担を控除いた額となります。